

高齢者糖尿病における血糖マネジメントの実態調査

京都府立医科大学 内分泌・代謝内科では、日本医師会総合政策研究機構を協力研究機関として、日本医師会診療データベース研究事業（Japan medical association Database Of clinical Medicine : J-DOME）の『かかりつけ医による糖尿病ならびに高血圧を含む生活習慣病の効果的治療に向けた観察研究』をとおして集められたデータ（J-DOME データベース）を利用して「高齢者糖尿病における血糖マネジメントの実態調査」を実施いたします。実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

・ 研究の目的

高齢者糖尿病患者の血糖コントロール目標は、日本糖尿病学会・日本老年医学会によって様々なカテゴリー分類に基づき設定されていますが、実臨床において高齢者糖尿病の血糖マネジメントの実態は十分に把握されていません。そこで、本研究では、J-DOME データベースを用いて、かかりつけ医における高齢者糖尿病患者の血糖マネジメントの実態を明らかにします。

・ 対象となる方について

2016年7月1日～2025年3月31日までにJ-DOME データベースに登録されている65歳以上の2型糖尿病をもつ方

・ 研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2029年3月31日

・ 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：医学倫理審査委員会承認日

・ 方法

J-DOME データベースに集められた情報である登録者背景、血液検査結果、体重・BMI・血圧等の情報といったデータを分析し、血糖値の状況との関連を調査します。

・ 研究に用いる試料・情報について

J-DOME データベースに集められた情報[登録者背景、血液検査結果、体重・BMI・血圧等]を研究に用います。

・ 個人情報の取り扱いについて

血液・尿検査、問診情報などをこの研究に使用する際は、氏名、生年月日など、個人を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。個人と研究用の番号を結びつける情報は J-DOME のみが有しています。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、個人が特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 内分泌・代謝内科学 学内講師 岡田博史）の責任の下、厳重な管理を行い、個人情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 試料・情報の保存および二次利用について

本研究において得られたデータは京都府立医科大学 内分泌・代謝内科学 学内講師 岡田博史の責任の下、研究終了報告日から 10 年まで保管し、適切に廃棄します。なお、将来、研究に用いる場合は、改めて「京都府立医科大学医学倫理審査委員会」において承認を受けます。

既に解析のために収集された匿名化データは二次研究（メタアナリシスなど）に利用する可能性があるため、上記の保管期間を超えて適切に保管します。将来、研究に用いる場合は改めて京都府立医科大学医学倫理審査委員会において承認を受けた後に使用します。

・ 研究資金及び利益相反について

利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究に関する利益相反については、京都府公立大学法人の利益相反に関する規程、京都府立医科大学の臨床研究に係る利益相反に関する規程等にしがって管理されています。研究にかかる資金は京都府立医科大学内分泌・代謝内科学の教室費で賄います。

・ 研究組織

研究責任者：内分泌・代謝内科学 学内講師 岡田博史

研究担当者：内分泌・代謝内科学 学内講師 岡田博史

研究担当者：内分泌・代謝内科学 大学院生 竹田早恵

協力研究機関：日本医師会総合政策研究機構 主席研究員 江口成美

お問合せ先

参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希

望される場合は下記の連絡先までお申し出ください。

京都府立医科大学 内分泌・代謝内科
電話：075-251-5505（担当；岡田博史）